

市民活動推進補助事業企画書

令和3年 1月 13日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者 名称 一般社団法人4Hearts

代表者氏名 那須 かおり

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業
事業の名称	みみとこころのポータルサイト
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和3年 4月 1日から 令和4年 3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2 この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第2号様式（第7条関係）

市民活動団体概要書

名称	一般社団法人 4Hearts
連絡先	
設立年月日	令和2年 5月 25日
構成員数	3人（うち役員 3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者 3人 その他 人
情報の公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載、Facebook）
設立の経緯	聴覚障害者のための人権や障害福祉については、運動のお陰で少しずつ認められてきています。反面、障害の陰に隠れ心理面がおざなりになってしまったという問題点があります。また、手話を母語とする人達は、同じ日本に居ながらにして言語が違う為、そこから生じる文化的背景をも肌感覚で理解した心理カウンセラーの育成が急務です。そういったことから、社会との接点となる「場」の必要性を実感するに至りました。
活動の目的	聴覚障害やLGBTなど社会的マイノリティな人々に対して、情報発信、カウンセリングやピアサポート、社会と繋がる場所づくりに関する活動（事業）を行うことにより、障害の有無に関わらず対等に社会参加できる社会の実現に寄与することを目的とする。
主な活動内容	① 手話関連事業 ② 聴覚障害者、LGBTなど社会的マイノリティ支援事業 ③ カウンセリング・ピアサポート事業
年間決算額	円
補助金の状況	団体名：一般社団法人 4Hearts 補助金の交付を受けた年度：令和2年度 補助金の名称：みみとこころのポータルサイト

事業計画書

<p>実施する事業 について</p>	<p>①みみここカフェ</p> <p>参加者の日頃感じていること、周囲の人には言いにくいこと、我慢していることなどを、哲学対話という手法で発表したり、傾聴したりする場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 4月以降の偶数月、初旬日曜、2時間を予定（全6回） ・会場 コワーキングスペースチガラボ ・対象 市内の聴こえに悩みを持たれている方、それ以外の障害をお持ちの方、またはそれらに関わる方（事前予約制・10名/1回） ・参加費 ¥1,200 ・情報保障 手話通訳2名/1回 <p>②みみとこころのポータルサイトのコンテンツ作成、公開</p> <p>ろう当事者の体験や活動内容、聴者でろう者とかかわりを持っている方の日常、活動内容などをインタビュー形式で伺い、ろう者への新しいロールモデルの提供、ろう者を取り巻く環境の現状や課題解決に向けた試みなどを紹介していきます。</p> <p>具体的にはインタビュー・対談を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対談・インタビュー会場 未定（うみかぜテラスなど） ・聴者との対談（記事・動画）6回 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影・編集・手話通訳のワイプ挿入を（株）メディア・ケイフォーム様に委託。撮影時からライターが同行し記事執筆。動画用字幕の文字起こしは別途依頼。ワイプ用手話通訳は当法人。 ・ろう者・聴者へのインタビュー（記事・動画）6回 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影・記事作成は当法人が実施。動画編集はろう者に依頼。動画用字幕（手話読み取り文字起こし）は別途依頼。 ・『神戸長田ふくろうの杜』取材およびインタビュー <ul style="list-style-type: none"> 2020年11月21日開所。相談支援・就労継続支援・地域密着型通所介護・放課後等デイサービス・生活介護の聴覚障害者専門複合施設。別途資料あり。 動画撮影・記事作成は当法人が実施。動画編集はろう者に依頼。動画用字幕（手話読み取り文字起こし）は別途依頼。 ・記事のみ 目標：48記事追加 <ul style="list-style-type: none"> 日本代表帯同メンタルトレーナー、ろう LGBT、医療関係、介護、戦争、法律関係、人工内耳などといった聴覚に関わる専門記事。
------------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度公開した『みみところのポータルサイト』の固定ページ変更、新規開設するページ等のデザインを委託します。 <p>③団体PR用フライヤーの第2弾を作成し、4Heartsの団体及び活動内容の更なる周知活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B6サイズ、光沢紙、両面カラー、500枚 ・文章：ライター委託 デザイン：(株)ボンド委託 ・配置場所は公的施設、病院、店舗等を想定しており、加えてイベント参加者への配布も行います。 <p>【新型コロナウイルス感染症対策】①みみここカフェ②対談、インタビュー実施に当たっては、各回の対象人数は会場定員の半分とし、2m間隔で席を配置するとともに、30分ごとに換気を行い、3密を回避します。参加者は事前に把握し、当日の検温、マスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。</p>
<p>事業の背景について</p>	<p>人生100年時代と言われる今、すべての人がこれから先、自分や家族が様々な形の当事者になる可能性があります。コロナ禍の中で、障害者も含めた生き方を改めて考え直す時代になりました。多様性を受け入れる気持ちのゆとりは今まで以上に必要になったと考え、多様性と地域活性化をうまく組み合わせた事業を創生していく必要があります。</p> <p>多様性を当たり前にする一歩として、対話の場を設けるために『みみここカフェ』を開催しています。</p> <p>また、代表の那須と様々な人との対談を実施していくことで、様々なテーマについて考える機会を作ります。</p> <p>一般社団法人4Heartsは、「私でもできた」から「私だからできた」を継続して生み出せる場を作ります。さらに、変化に対し柔軟である心の土台作りを、皆さんとともに考える働きかけを続けていきます。</p>
<p>事業の目的や効果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的ハンデ（障害・老眼・身体的衰えなど）を負ったとき、どのように気持ちを持っていくと塞ぎこむことがないかを考えられるようになります。 ・出来ることと出来ないことをしっかり自分の中で理解しておけば、アイデンティティを確立し自分に出来ることでどのように社会に役に立てるかが分かります。できない事があったとき、それを解決するための交流を持つことができます。 ・茅ヶ崎市にやりたいことを応援しあう風土を醸成します。

第3号様式（第7条関係）

<p>事業の広報 について</p>	<p>(使用予定の媒体にチェック) <input checked="" type="checkbox"/>チラシ・ポスター <input type="checkbox"/>パンフレットなどの刊行物 <input checked="" type="checkbox"/>ホームページ <input checked="" type="checkbox"/>Facebook <input type="checkbox"/>Twitter <input type="checkbox"/>その他のSNS () <input type="checkbox"/>市の広報紙 <input type="checkbox"/>市の広報掲示板 <input type="checkbox"/>口頭にて伝達 <input type="checkbox"/>その他 ()</p>
<p>事業の実施体制 について</p>	<p>総括 代表者 1人 会計 1人 運営 1人 【事業協力】 ライター、みみここカフェ運営補助、手話通訳者、手話動画編集協力者、手話読み取り文字起こし協力者、(株)メディア・ケイフォルム、NPO法人セカンドワーク協会、株式会社ボンド</p>

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

収支予算書

収入

科 目	金 額	内 訳
1 団体収入	107,840	団体活動費にて充当
2 事業収入	72,000	①みみここカフェ参加費 ¥1,200×10名×6回
3 補助金収入	600,000	市民活動げんき基金補助
合 計	¥779,840	

支出

科 目	金 額	内 訳
謝金	423,700	①みみここカフェ手話通訳謝金¥5,000×2名×6回=¥60,000 ②インタビュー・対談謝金 ¥5,000×12名=¥60,000 ろう者インタビュー動画編集; ¥5,000×7本+¥2,700(動画編集ソフト)= ¥37,700 動画用字幕文字起こし; ¥2,000×13本=¥26,000 記事執筆依頼原稿料¥5,000×48名=¥240,000
委託料	205,700	②ホームページ保守管理委託費用; NPOセカンドワーク協会¥13,200 フライヤー・WEBデザイン料; ㈱ポンド¥55,000 聴者インタビュー動画編集; ㈱メディア・ケイフォルム ¥66,000(年間) ライター委託; 対談記事執筆、みみここカフェ記事執筆、フライヤー文章; ¥5,500×6本 +¥5,500×6本+¥5,500×1本= ¥71,500
印刷製本費	2,020	★③フライヤー印刷B6サイズ、光沢紙、両面カラー; プリントパック500枚 ¥2,020
通信運搬費	16,200	サーバー費用(1年間); ¥16,200
使用料・賃借料	77,280	①みみここカフェ会場費(チガラボ) ¥1,000×10名×6回=¥60,000 ②インタビュー会場使用料(例)うみかぜテラス; ¥1,440(3h)×12回=¥17,280
会員旅費	37,440	②取材交通費 ¥34,520(茅ヶ崎⇄新大阪往復新幹線利用×2名分) ¥2,920(新大阪⇄新長田利用×2名分)
物品費	17,500	①フェイスシールド60枚 ¥200×10名×6回=12,000 感染対策アルコール消毒 ¥1,500 非接触体温計 ¥4,000
合 計	779,840	

* 物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間(概ね1年以上)使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

〒253-0072
神奈川県 茅ヶ崎市今宿965番地1
一般社団法人 4Hearts 御中

株式会社ボンド
〒253-0044
神奈川県 茅ヶ崎市新栄町13-48
ワラシナビル5F
電話: 0467-82-2471



見積書

下記の通り御見積もり申し上げます。

見積日 : 2021年01月13日

見積書番号 : 1159

合計金額 55,000円

詳細	数量	単価	金額
<みみとこころのポータルサイト>			
◆フライヤーデザイン	1式	20,000	20,000
◆Webデザイン費	1式	30,000	30,000
└固定ページのリデザイン・新規ページデザイン			

小計	50,000円
消費税	5,000円
合計金額	55,000円

備考欄

大変恐縮ですが、お振込み手数料は、貴社ご負担にてお願い申し上げます。

神戸長田ふくろうの社 建設経緯

神戸市内において、ろう者の言語手話や、生活と人生に配慮し、そのニーズを受け止める就労支援施設は皆無でした。

平成12年神戸ろうあ協会による「共同作業所神戸ろうあハウス」が出発となりました。介護保険制度が始まって2年後の平成14年によやく「生きがい対応型サービス」が神戸ろうあハウス内で開始されました。

JR兵庫駅西の高架下の同ハウスも数回の改修にもかかわらず酷い雨もりや振動、致命的には非常口がありません。神戸市に移転拡充の要望が届けられていました。

阪神淡路大震災から18年、平成25年に公益社団法人兵庫聴覚障害者協会などが実施した実態調査は、年収150万円未満が44%、近所と付き合いがないうい・あいさつ程度の合計が78%を示し聴覚障害者の『貧困と孤立』の実態を明らかにしました。

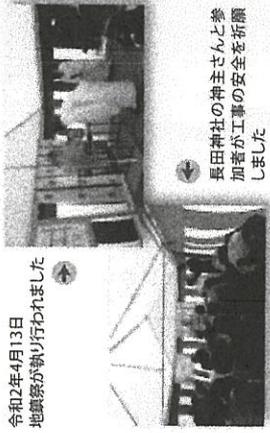


平成25年9月23日
聴覚障害者文化祭で
施設建設の展示をPR!

令和元年6月23日
施設名決定!
兵庫ろうあ者入会で発表!



令和2年4月13日
地鎮祭が執り行われました



長田神社の神主さんと参加者が工事の安全を祈願しました

そして、『コミュニケーションが保障され、災害や病氣などいざという時に頼りになる身近な施設』の設置を強く求めるものでした。

平成27年には、ひとりぼっちゼロプロジェクトとして神戸ろうあハウス事業の移転拡充を目指す施設建設委員会が結成され、神戸市への緊急移転要望、新施設建設への一億円募金運動が展開されました。

当社会福祉法人においても、経営基盤の強化と専門性充実に向けて、神戸ろうあハウス事業の経営を引き継ぎました。そして民有地の確保、まちづくり協議会などとの協議、交流を重ねました。

この度の建設実現は、施設整備国庫補助の内定に尽力された神戸市、施設建設推進委員会の運動、神戸ろうあ協会と当法人による事業活動、これらの総合的な取り組みの結実です。

神戸長田ふくろうの社は、神戸市内と兵庫県全体へ、ひとりぼっちゼロプロジェクトの推進とその展望を拓く役割・使命を担うものです。

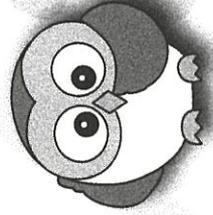
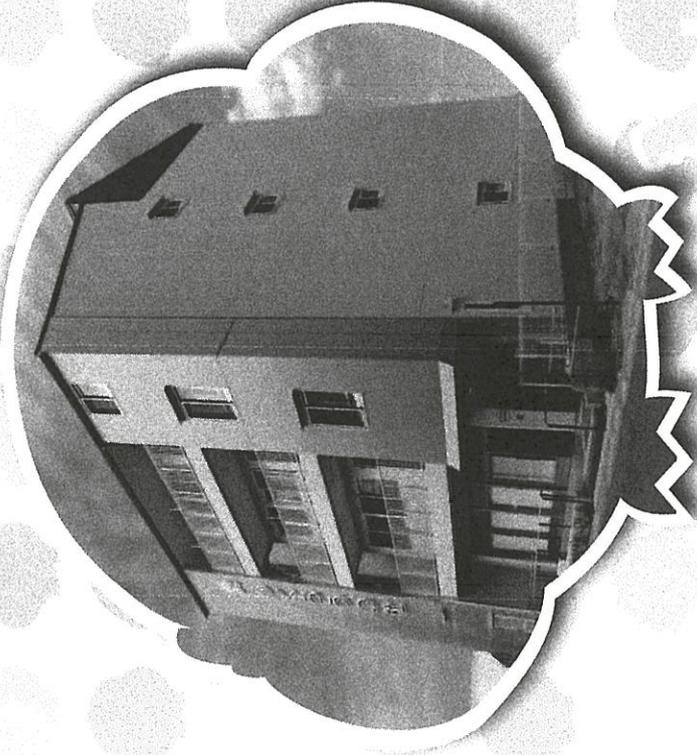


〒653-0836
神戸市長田区神楽町
5丁目3-14-1
TEL 078-798-7940
FAX 078-798-7941

Web <http://hyoufuku.main.jp/>

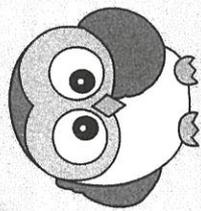
神戸長田

ふくろうの社



社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

一人ひとりを大切に共に生きる地域社会を目指します



事業概要

一人ひとりの人生を学び、尊び、聴覚障害者、地域の皆様と共に「よりどころ」となる施設を目指します。

3F

ふくろうの杜生きがいサービス (地域拠点型一般介護予防)

一人一人に合ったコミュニケーションを通して「介護予防」や「居場所」を提供します。

内容 趣味活動、脳トレ、情報提供、専門職による介護予防講座、介護予防教室

開所日 水曜日(ろう者)木曜日(聴覚者)(お盆、正月は休み)

時間 10時～15時

定員 20名



4F

相談支援事業所ふくろう

地域で暮らす障害者・児を対象に一般・特定・障害児相談支援を行います。手話などそれぞれのコミュニケーションに配慮し、身近な場所で気軽に相談ができる場所を目指します。

内容 一般・特定(計画)・障害児相談支援

開所日 月～金 土曜日は不定期営業(日曜・お盆・正月は休み)

時間 8時30分～17時30分

3F

ふくろうの杜サービス (地域拠点型通所介護)

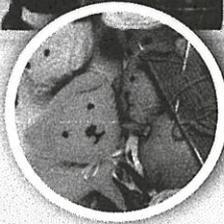
自立した生活が送れるように、一人一人に合った支援します。

内容 健康チェック、レクリエーション、食事、入浴、機能訓練

開所日 月・火・水・金・土(お盆、正月は休み)

時間 9時25分～15時40分

定員 16名 送迎あり



4F

多機能型神戸長田ふくろうの杜 放課後等デイサービス

手話などの視覚的コミュニケーションを豊かにし、ひとりひとりが安心して過ごし自分らしく成長できる居場所づくりを目指します。

内容 自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供

開所日 月、火、木、金、土(水曜、お盆、正月は休み)

時間 15時～18時(平日)

11時～16時(土曜、祝日、長期休暇中)
定員 10名 送迎あり

1F

多機能型神戸長田ふくろうの杜 就労継続支援B型事業

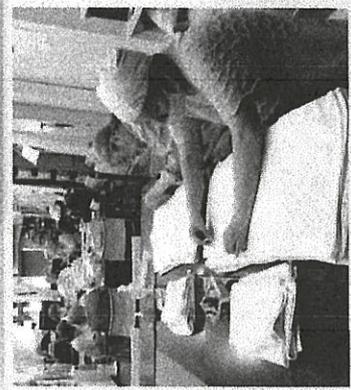
利用者の意思及び人格を尊重して、作業を通して、働くことの喜び、つながることの大切さを学び、知識や能力の向上、そして自立した生活を目指します。

内容 飲食店、加工品製造販売、下請、地域貢献、青空市場等

開所日 月、火、木、金、土(水曜、お盆、正月は休み)

時間 9時～17時

定員 14名 送迎あり



2F

多機能型神戸長田ふくろうの杜 生活介護

利用者一人一人の個性を大切に、その人らしい生活を送るための支援をします。

内容 リハビリプログラム、創作活動、生産活動

開所日 月、火、木、金、土(水曜、お盆、正月は休み)

時間 10時～16時

定員 6名 送迎あり